

令和6年度予算概要

1 予算の概要

1 予算の編成

令和6年度予算は、名古屋港が中部圏の「ものづくり産業」を物流面で支える「国際産業戦略港湾」の実現に向けて、港の強靱化を図るとともに港湾機能強化や次世代エネルギーである水素の活用などによるカーボンニュートラルポート（CNP）形成の促進、名古屋港水族館の機能強化に取り組むため、限られた財源を重点的かつ効率的に配分した。

歳入は、景気は雇用・所得環境が改善するもとで緩やかな回復が続くことが期待されるが、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが下押しするリスクとなっている。また、本組合を取り巻く財政状況は引き続き厳しく、港湾施設使用料や土地関係収入が減収となるなかで、更なる利用促進、効率的運用により、見込み得る限りの歳入を計上した。

また、歳出は、行政経費について可能な限りの削減に努めるとともに、国の「港湾の中長期政策（PORT2030）」を踏まえ、船舶の大型化等への対応、名古屋港管理組合インフラ長寿命化計画（行動計画）に基づいた老朽化対策及び災害対策の充実強化、さらには親しまれる港づくりなど、多様な要請に応える予算とした。

また、第6次行財政改革計画においても引き続き、更なる収入の確保及び経費削減努力を継続しつつ、安定的かつ持続可能な財政運営に努めていく。

2 予算の規模

令和6年度予算の規模は、一般会計、基金特別会計、施設運営事業会計及び埋立事業会計の4会計を合わせて392億4,290万円である。これは、対前年度比較で25億3,800万円の増加となっている。

会計区分	令和6年度		令和5年度		対前年度比較	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増△減額	伸率
一般会計	千円 29,980,000	% 76.4	千円 28,950,000	% 78.9	千円 1,030,000	% 3.6
基金特別会計	290,900	0.8	208,900	0.6	82,000	39.3
施設運営事業会計	7,112,000	18.1	6,044,000	16.4	1,068,000	17.7
埋立事業会計	1,860,000	4.7	1,502,000	4.1	358,000	23.8
計	39,242,900	100	36,704,900	100	2,538,000	6.9

(注) 施設運営事業会計及び埋立事業会計については、収益的支出及び資本的支出の合計額である。

2 一般会計

令和6年度の一般会計は、船舶の大型化や取扱貨物量の増加に対応するため、飛島ふ頭岸壁などの整備に積極的に取り組むこととしている。また、中川運河護岸改良及び金城ふ頭岸壁改良などの老朽化対策、今後想定される大規模地震に対応した災害対策として港内防潮壁改良などの地域防災機能の強化及び県民・市民に親しまれにぎわいのある港湾空間創出や緑地整備を始めとする良好な港湾環境の形成を図るため、次の3点を重点施策とする予算とした。

- (1) 国際競争力及び産業競争力の強化と港湾物流の環境変化に対応した港づくり
- (2) 港湾の安全確保と大規模災害にも対応できる地域防災を目指した港づくり
- (3) 環境にやさしく、夢・うるおい・にぎわいのある親しまれる港づくり

その予算額は、299億8,000万円で、対前年度比較で10億3,000万円、率にして3.6%の増加となっている。

歳入

歳入区分	令和6年度		令和5年度		対前年度比較	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増△減額	伸率
県市負担金	千円 6,540,212	% 21.8	千円 6,335,926	% 21.9	千円 204,286	% 3.2
その他負担金	1,555,513	5.2	1,257,165	4.3	298,348	23.7
使用料及び手数料	4,461,195	14.9	4,543,183	15.7	△81,988	△1.8
国庫支出金	1,807,200	6.0	1,511,500	5.2	295,700	19.6
財産収入	4,694,753	15.7	4,717,079	16.3	△22,326	△0.5
寄附金	10	0.0	10	0.0	0	0.0
繰入金	206,400	0.7	125,565	0.5	80,835	64.4
繰越金	300,000	1.0	500,000	1.7	△200,000	△40.0
諸収入	1,924,717	6.4	1,828,572	6.3	96,145	5.3
組合債	8,490,000	28.3	8,131,000	28.1	359,000	4.4
計	29,980,000	100	28,950,000	100	1,030,000	3.6

歳入予算のなかで、例年大きな構成割合を占めている県市負担金は、組合の経費に対し、見込み得る施設使用料及び組合債等の収入を充て、なお不足する額について、名古屋港管理組合規約に基づき愛知県及び名古屋市よりそれぞれ2分の1の負担を仰ぎ、その用途については単に一般財源の不足額に充てるのではなく、主として投資的経費としての公共事業に係る地方負担額及び地方負担額に充てるために措置した組合債の元利償還金等に充当しているものである。本年度は組合債の元利償還金等の増加により、対前年度比較で2億428万6千円、率にして3.2%の増加となる65億4,021万2千円を計上した。

また、平成 6 年度に起債充当率が引き上げられ、当該年度の公共事業に充てる県市負担金は抑制されたものの、後年度負担の公債費に充てる県市負担金が増加したことにより、令和 6 年度予算では県市負担金の 85%を公債費が占める状況となっている。

次に歳入の大宗をなし、かつ、自主財源として財政の弾力的な運営に影響する使用料及び手数料並びに財産収入は、港湾施設使用料や土地関係収入の減収により対前年度比較で 1 億 431 万 4 千円、率にして 1.1%の減少となる 91 億 5,594 万 8 千円（歳入構成比 30.6%）を計上した。

また、組合債については、単独事業債の増額などにより、対前年度比較で 3 億 5,900 万円、率にして 4.4%の増加となる 84 億 9,000 万円を計上した。

その他例年どおり、国庫支出金、繰入金、諸収入等の歳入を予算措置した。

歳 出

歳 出 区 分	令和 6 年度		令和 5 年度		対前年度比較		
	予 算 額	構 成 比	予 算 額	構 成 比	増△減額	伸 率	
議 会 費	千円 194,877	% 0.7	千円 171,063	% 0.6	千円 23,814	% 13.9	
総 務 費	2,889,890	9.6	2,437,627	8.4	452,263	18.6	
港 営 費	2,601,852	8.7	2,286,267	7.9	315,585	13.8	
企 画 調 整 費・ 建 設 費	補 助 事 業	4,326,000	14.4	3,608,800	12.5	717,200	19.9
	直 轄 事 業	6,497,900	21.7	7,136,600	24.6	△638,700	△8.9
	単 独 事 業	6,584,481	21.9	6,635,643	22.9	△51,162	△0.8
	小 計	17,408,381	58.0	17,381,043	60.0	27,338	0.2
公 債 費	6,855,000	22.9	6,644,000	23.0	211,000	3.2	
予 備 費	30,000	0.1	30,000	0.1	0	0.0	
計	29,980,000	100	28,950,000	100	1,030,000	3.6	

歳出予算は、組合議会の運営に要する経費として議会費に1億9,487万7千円を計上したのを始め、一般管理事務に要する経費として総務費に28億8,989万円を、また港湾施設等の管理運営に要する経費として港営費に26億185万2千円を計上した。

次に港湾施設整備等に関連する経費として企画調整費及び建設費に、補助事業43億2,600万円、直轄事業の港湾管理者負担金64億9,790万円、単独事業65億8,448万1千円の合わせて174億838万1千円を計上した。

また、これら公共事業を行うに当たっては、財源を組合債に求めることが多く、この組合債の元利償還金として、対前年度比較で2億1,100万円増額の68億5,500万円（歳出構成比22.9%）を公債費に計上した。

なお、これらの港湾整備事業等を重点施策別に示すと次表のとおりである。

港湾整備事業の重点施策別内訳

区 分	主 な 事 業 内 容	予 算 額
国際競争力及び産業競争力の強化と港湾物流の環境変化に対応した港づくり	岸壁・航路整備 (飛島ふ頭岸壁改良等)	千円 (2,046,600) 828,600
	脱炭素化の推進 (水素燃料電池換装型荷役機械等の導入促進事業補助金等)	145,424
	サイバーセキュリティ対策補助金	64,000
	その他基本計画調査 (効率的な航路体系に関する検討調査等)	35,400
	計	(2,291,424) 1,073,424
	港湾の安全確保と大規模災害にも対応できる地域防災を目指した港づくり	泊地維持 (港内泊地)
岸壁・護岸改良等 (中川運河護岸改良、予防保全事業等)		(2,905,900) 2,435,900
臨港交通施設補修等安全対策 (潮風橋耐荷補強等)		1,776,483
港湾防災対策 (港内防潮壁改良、大江川地区止水壁工事等)		1,730,455
港湾施設保安対策 (保安対策施設維持等)		602,656
計		(19,062,294) 11,969,194
環境にやさしく、夢・うるおい・にぎわいのある親しまれる港づくり	港内環境対策等 (大江川地区汚染土壌対策、臨港緑地維持等)	1,632,368
	クルーズ船対応 (ガーデンふ頭岸壁改良等)	1,151,249
	港湾厚生施設等 (ガーデンふ頭西駐車場整備等)	625,547
	水族館 (水族館機能強化検討調査等)	213,672
	再開発整備等 (ガーデンふ頭再開発事務支援業務等)	210,853
	計	3,833,689

(注) 事業費に係る () は直轄事業の国負担分を含む。

3 基金特別会計

名古屋港における親しまれる港づくり事業の振興と事業の円滑な推進を図るため、本組合では3つの基金を設置している。基金特別会計の令和6年度の予算額は2億9,090万円で、主な事業内容は次のとおりである。

(1) 名古屋港水族館振興基金

名古屋港水族館振興基金の予算額は1億890万円で、水族館における水族の円滑な確保、展示効果の向上等水族館の振興に資するため、基金に155万2千円を積み立てるほか、水族館機能強化検討調査等に充てるため1億734万8千円を繰出金に計上した。

(2) 名古屋港海事文化振興基金

名古屋港海事文化振興基金の予算額は7,500万円で、名古屋港における海事文化に関する施設の充実、海事文化思想の普及等海事文化の振興に資するため、基金に1,114万8千円を積み立てるほか、ポートビル40周年記念事業開催費等に充てるため6,385万2千円を繰出金に計上した。

(3) 名古屋港環境振興基金

名古屋港環境振興基金の予算額は1億700万円で、名古屋港における大規模緑地施設の充実及び港湾緑化の円滑な運営等環境の振興等に資するため、基金に7,180万円を積み立てるほか、臨港緑地維持費等に充てるため3,520万円を繰出金に計上した。

歳入

歳入区分	令和6年度		令和5年度		対前年度比較	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増△減額	伸率
水族館振興基金収入	千円 108,900	% 37.4	千円 12,500	% 6.0	千円 96,400	% 771.2
財産収入	32	0.0	80	0.0	△48	△60.0
寄附金	1,500	0.5	1,400	0.7	100	7.1
繰越金	10	0.0	10	0.0	0	0.0
積戻金	107,348	36.9	11,000	5.3	96,348	875.9
繰入金	10	0.0	10	0.0	0	0.0
海事文化振興基金収入	75,000	25.8	67,400	32.3	7,600	11.3
財産収入	38	0.0	90	0.0	△52	△57.8
寄附金	100	0.0	100	0.1	0	0.0
繰越金	10	0.0	10	0.0	0	0.0
積戻金	63,852	22.0	57,200	27.4	6,652	11.6
繰入金	11,000	3.8	10,000	4.8	1,000	10.0
環境振興基金収入	107,000	36.8	129,000	61.7	△22,000	△17.1
財産収入	80	0.0	15	0.0	65	433.3
寄附金	1,700	0.6	1,600	0.8	100	6.3
繰越金	20	0.0	20	0.0	0	0.0
積戻金	35,200	12.1	57,365	27.4	△22,165	△38.6
繰入金	70,000	24.1	70,000	33.5	0	0.0
計	290,900	100	208,900	100	82,000	39.3

歳出

歳出区分	令和6年度		令和5年度		対前年度比較	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増△減額	伸率
水族館振興基金	千円 108,900	% 37.4	千円 12,500	% 6.0	千円 96,400	% 771.2
積立金	1,552	0.5	1,500	0.7	52	3.5
繰出金	107,348	36.9	11,000	5.3	96,348	875.9
海事文化振興基金	75,000	25.8	67,400	32.3	7,600	11.3
積立金	11,148	3.8	10,200	4.9	948	9.3
繰出金	63,852	22.0	57,200	27.4	6,652	11.6
環境振興基金	107,000	36.8	129,000	61.7	△22,000	△17.1
積立金	71,800	24.7	71,635	34.3	165	0.2
繰出金	35,200	12.1	57,365	27.4	△22,165	△38.6
計	290,900	100	208,900	100	82,000	39.3